東京東村山ロータリークラブ　国際ロータリー第2580地区

週報

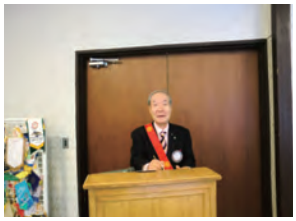
国際ロータリーテーマ

ロータリーを
実践し
みんなに
豊かな人生を

Vol.47　第2295回例会　2014.1.30

今年度会長テーマ　話と和で輪を広げ　ロータリーをもっと身近に

■司会：
北久保例会運営委員



■点鐘：野村会長

■合唱：ロータリーソング
「四つのテスト」

◆ソングリーダー：
村田会員

■お客様紹介：
當麻パスト会長

◆ゲスト：
武蔵村山ＲＣ
齊藤孝喜様

■会長報告　野村会長

防火防災安全祈願餅つき大会

毎年育成資金を提供している、東村山消防少年団の事業を是非見学したくて12月8日(日)東村山消防署に、いってきました。いつもは、消防少年団と交通少年団の代表者に例会場に来ていただいて、贈呈しそれぞれの団長に一言頂戴するという方式でしたが、今年の私の行動方針としては、できるだけ現場に行って、どんな素晴らしい行事をそれぞれの団体が実施しているのかを確認したいと考えていましたので、丁度よい機会でした。当日のお天気は晴天でしたが、冷たい風が吹くなか消防署の裏庭で、一生懸命整列の訓練をしたり、餅つきの準備や150人分の豚汁の下ごしらえも子供たちにさせていました。宇嶋団長によると、普段包丁等の危険物は、家庭では扱わない子供達に包丁を使わせたりしているそうです。

集団での子供たちの行動管理はとても神経を使うそうですが、あえてそうしていますとの事でした。例えばこんな話を聞きました。合宿形式で様々な訓練をした時の事で、お風呂に入った後浴室から出て足拭きマットの上で手を広げて突っ立っている子が居たそうです。どうしたのと聞くといつも親が体を拭いてくれるんだそうです。しかも小学校高学年の子。過保護に育った子供達に、地域の事や団体生活を経験させる事によって、子供達の表情や行動が変わっていく様が良くわかるとのお話がありました。その話を聞いただけでも当日参加した意義があったと感じました。大変大事な事業に資金提供していると実感しました。

昨晩東村山市商工会議所の賀詞交換会に出席して

■例会日／毎週木曜日　12:30～13:30
■例会場／八坂神社　社務所
〒189-0013　東京都東村山市栄町3-35-1

■クラブ管理委員会／田中　重義
■事務所／〒189-0013
東京都東村山市栄町3-5-1ハイツむさしの101
TEL　042-393-7500　FAX　042-395-1166

きました。サンパルネで約100人程の参加で、渡辺市長の話では西武線の高架化が昨年末に認可されたので、これから動き始めるとの事。そのことによって、今迄踏切によって分断されていた人の往来が活発になれば、東村山が更に進化するだろうとの事でした。また、小江戸号の乗車率が7%増となり東村山駅停車による効果もあったと思いますとの事でした。

■幹事報告　石山幹事

■ガバナー事務所：
・2014-15年度地区委員承認のお願いについて
　地区インターアクト委員会　委員：中條基成会員

・2013年手続要覧日本語版電子ファイルの記載について
　国際ロータリーウェブサイトに掲載　下記リンク先
　https://www.rotary.org/myrotary/ja/document/468
　印刷版は2月完成予定　1冊8ドル

・「ロータリーの誕生」スライド設置マニュアル改訂版について
　ロータリーの誕生日(創立記念日)2月23日にあわせて、クラブのＨＰへスライドを表示する活動の協力

・2015年サンパウロ(ブラジル)国際大会の件について
　2015年サンパウロ国際大会日程の変更
　2015年6月5日～8日→2015年6月7日～10日

■ガバナー事務所(ホスト：新宿ＲＣ)
　地区大会に関するお願いについて
　・事務局員派遣　2014年2月19日(水)　午前11時集合
　・新入会員昼食会　2014年2月19日(水)　午前11時より
　　京王プラザホテル南館4F「錦」
　　出席登録者　野村裕夫会員・荻野昇会員
　　清水啓量会員・北久保隆一会員
　・会長・幹事会　2014年2月18日(火)　15:30点鐘

■国際ロータリー日本事務局：
　2014年2月のロータリーレート　1ドル＝102円

■ガバナーエレクト事務所：
　2014～15年度地区チーム研修セミナーの案内について
　2014年2月26日(水)　14:00～
　於　池袋ホテルメトロポリタン

■東京本郷ロータリークラブ：
　「職場体験発表会」ご出席のお願いについて
　2014年2月7日(金)　14:00～
　於　文京シビックセンター

■スポーツ祭東京2013東村山市実行委員会：
　スポーツ祭東京2013東村山市実行委員会第5回総会(解散総会)の開催について
　2014年2月17日(月)　18:45～
　於　市民センター

■出席報告　飯田例会運営委員

在籍会員数	出　席	免　除	欠　席	出席率
29	24	0	3	88.89

■前々回メークアップ修正後前々会欠席：2名
■前々回出席率メークアップ修正後：92.59%
■前々会メークアップ者：
　赤木会員：東京東大和ＲＣ
　飯田会員：地区インターアクト
　中條会員：理事会
　野崎会員：福生中央ＲＣ
　野澤会員：東京東大和ＲＣ

■ニコニコＢＯＸ　野村(裕)クラブ管理委員

◆野村会長、石山幹事：
　武蔵村山ＲＣ齊藤様、ようこそお越し下さいました。卓話楽しみにしています。風邪がはやっております。皆様お気をつけ下さい。
◆當麻会員：先日の義父の葬儀の際、生花・ご会葬ありがとうございました。
◆野澤会員：武蔵カントリーグランドシニア月例杯(55名参加)で、優勝させて頂きました。2日後、家内は民謡千月会新年大会で優勝し、今年は春から嬉しいスタートになりました。
◆小町会員：本日はご多用の中、卓話においで頂きありがとうございます。公私共、楽しいお話が聞かれると思います。
◆荻野会員：野澤秀夫会員、武蔵豊岡コース・グランドシニア大会優勝おめでとう。2月に飲み会やろうね。
◆目時会員：写真ありがとうございます。
◆中丸会員：本日は齊藤様ようこそお出で下さいました。卓話楽しみにしております。よろしくお願いします。
◆田中会員：東京武蔵村山ＲＣ齊藤様、今日は楽しみにお待ちしていました。よろしくお願いします。武蔵村山にはメーキャップでお世話になり、ありがとうございました。

◆赤木会員：武蔵村山ＲＣ齊藤様、本日の卓話大変楽しみにしております。よろしくお願い致します。

本日のニコニコ合計：　36,000円
累　　計　：　938,324円

■委員長報告

■田中クラブ管理委員長

たましん東村山支店・山宮前支店長の送別会及び、新任支店長の歓迎会を、2月21日(金)18時30分よりたきびさんにて行います。次回、回覧板を回します。大勢の皆様の参加をお願いします。

■野村(裕)米山奨学会
委員長

米山奨学会からのお願いということでお話させていただきます。
ご存じのとおり、米山奨学会を下期の普通寄与金に関して今月振り込みをさせていただきました。
予定通りの奨学金の寄付はしているわけですが、現在、なかなか米山奨学金の寄付が集まりにくくなってきているということで奨学生に対して大分制約がでてきているということで、その中で少しでも役目を果たしたいと、寄付についての認識を新たにしてやりましょうということを今年の事業計画の中でも書きました。普通預金の寄付はお二人の方からいただいておりますが、もう少し皆さん方からのご協力をいただきたいということで、来週から例会ごとに寄付をいただける募金箱を回させていただきますので、御一人三千円を目安にお願いさせていただきます。大変ですが、また任意でもありますが、ご協力をよろしくお願いいたします。
また、野崎会員が2580地区の米山奨学会副委員長をしておりまして、先週も福生中央ＲＣに卓話として行ってまいりました。
そんなこともありまして、併せて東村山ＲＣとして、少しで寄与金を増やしたいということでありますので、是非皆様方のご協力をお願いいたします。

■野崎2580地区
米山奨学会副委員長

野村委員長からお話がありましたが、多摩分区でも当クラブは平均値まで行っておりませんので、募金の方を何卒よろしくお願いいたします。
だんだん、寄付金が減ってきておりまして、2580地区は、会員が増えているにもかかわらず、全国から数えても5、6番目のところにあります。もともと米山奨学会は、当地区が発祥の地でございますので、その辺のことを憂慮されてご検討をよろしくお願いいたします。
それでは、宜野湾ＲＣとの懇親会ということですが、沖縄に行きますと毎回ですが大歓待を受けます。東京に来られた時は、東村山ＲＣが設営をして懇親を深めるというわけですが、できればクラブで15～20ぐらい、ご都合の悪い方は止むを得ませんが、原則出席ということでお願いできればと思います。
新宿周辺ということで、予算もありますので、私の方で調べまして歌舞伎町に台湾料理の青葉という店があり、ここに決めようと思っております。皆さんの方には、すみませんが7000円ということでお願いします。
地図とか献立とかそういったものもありますので回覧をさせていただきます。
是非ご参加のほどよろしくお願いいたします。

■卓話

■卓話者紹介：
小町会員研修委員長

■卓話者：
東京武蔵村山ＲＣ
斉藤孝喜様

大きく無限に羽ばたき、いずれ目指すは日本一。そのためには天まで昇る「天乃屋」という名前が良いだろう。
そんな希望を込めて会社の名前を付けたのは、今から六〇年も前のことでした。

人生は常に前を向いて歩いていくものですが、最近、時には過去を振り返ってみるのも必要なことではないかと感じています。過去を振り返ってみると忘れかけていたものや今の自分に足らないもの、必要なものを思い出させてくれるようです。

そこで、天乃屋という社名を考えた時までさかのぼってみますと、あらためてその言葉の重さとスケールの大きさを感じると同時に、希望と未来をわが社の社員に託していかなければならないという気持ちが身中に沸き起こってきます。

わが社の大ヒット商品にしてロングセラー商品となった「歌舞伎揚」は、お得意様、お客様の応援のおかげで発売から今年で五三年目を迎えました。幅広い方々に愛される商品として育てていただいたことは実にありがたいことです。

私の五体はどこを切っても「歌舞伎揚」と「感謝」の言葉しか出てきません。

それほど歌舞伎揚と共に歩んできた人生でもあります。あらためてお客様、お得意様に心より厚く御礼と感謝を申し上げる次第です。

昨今、日本経済は変化の時代を迎えて、次から次へと大手企業が統合離散したり、外国企業の傘下に入るなどして社名もどんどん変わっています。それもまた時代の流れと傍観せざるを得ないものかもしれませんが、一人の経営者として複雑な気持ちであり、同時に切ない気持ちでもあります。

六〇年前、私は「いずれ目指すは日本一」と心に期しましたが、それは売り上げの額であるとか、規模であるとかを意味するナンバー1としての意味合いではありません。

そんなことより、「天乃屋らしさ」を発揮するというオリジナリティーあふれる会社のカラーが、必ずやお客様に浸透して欲しいといった希望を込めたのです。その結果として、近い将来にお客様から、「歌舞伎揚は日本一だね」という言葉をかけて頂ける日がやって来るのではないかと思っています。

この「日本一」という言葉は私だけでなく社員一人ひとりの心の中にもあります。

その意味合いもまたそれぞれの社員にとって様々だと思いますが、一人ひとりの社員が常に「日本一」になる気持ちを持ち続けること、そうした「志」を持ち続けていることこそが、実は私にとって一番嬉しいことでもあります。

今年、平成二五年(二〇一三)は天乃屋の設立から六〇周年を迎える節目の年にあたります。それだけではなく、私自身も先日、七七歳の喜寿を迎えることができました。

今思えばあっという間の六〇年でありましたが、この天乃屋の看板を背負ってきた重みを今もずっしりと感じております。

そして、設立六〇周年の大きな節目として、ささやかな一生を終える前に自分の想いを残しておきたいと本書の出版を思いつきました。私自身の苦労話や経験談から、みなさまの心に一言でも届けられるものがあればあ幸いかと思っております。

この場を借りまして、関係者の皆様に心より御礼と感謝を厚く申し上げたいと思います。

平成二五年七月吉日
株式会社天乃屋代表取締役社長
齊藤孝喜

■閉会点鐘：野村会長